

カリキュラム区分		3カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M315	1年	後期	医療技術科学	選択	生体防御学演習 Seminar on Host Defence	60	2
担当教員								
山田 武司								
関連するDPキーワード（看護学専攻）								
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。							
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。							
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）								
<input type="radio"/>	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。							
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
授業目的								
生体防御学特論で学んだ内容をもとにして、興味をもった免疫に関わる生命現象や疾患、医療技術に関する国内外の論文を検索し、できる限り多くの論文に目を通すことで研究への理解を深める。論文講読を通じて、著者が結果を導き出した研究手法や結果の妥当性について考察・理解を深めながら、自身の研究を進める際の参考とし、研究を行う上で生じた問題の解決策を見いだす能力の獲得を目指す。また、この生体防御学演習では、研究内容の効果的なプレゼンテーションの仕方、および学術論文の書き方についても理解を深める。 (科目責任者) 山田武司								
到達目標（授業目標）								
生体防御学特論で学んだ内容をもとに、項目ごとに自分が興味を持った免疫学に関する論文について深く掘り下げる。論文上の結果を導き出した研究手法や結果の妥当性について討論しながら考察・理解を深めるとともに、各自の研究課題を遂行するための研究手法を考案し、実際に得られた結果についてわかりやすく説明するプレゼンテーション能力を養う。 ① 免疫学に関する日本語論文や英語論文を読んで理解し、説明できる。 ② 自分で学んだことに関して、適切に説明できる。 ③ 論文の課題に関して、討論しながら考察・理解を深めるとともに、課題を遂行するための研究手法を考案できる。								
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	ガイダンス・研究課題の決め方や論文検索の方法について・山田武司							
2回	感染症(細菌)・細菌感染症とそれに対する生体防御機構に関する論文の詳読・山田武司							
3回	感染症(ウイルス)・ウイルス感染症とそれに対する生体防御機構に関する論文の詳読・山田武司							
4回	感染症(寄生虫)・寄生虫感染症とそれに対する生体防御機構に関する論文の詳読・山田武司							

5回	免疫疾患（アレルギー）・アレルギー疾患に関する論文の詳読・山田武司					
6回	免疫疾患（自己免疫）・自己免疫疾患に関する論文の詳読・山田武司					
7回	免疫寛容・免疫寛容システムに関する論文の詳読・山田武司					
8回	移植免疫・最新の移植免疫に関する論文の詳読・山田武司					
9回	腫瘍免疫・最新の腫瘍免疫に関する論文の詳読・山田武司					
10回	抗ウイルスワクチン・ウイルスに対するワクチン開発の進歩とその問題点について討論・山田武司					
11回	抗腫瘍ワクチン・腫瘍に対するワクチン開発の進歩とその問題点について討論・山田武司					
12回	免疫抑制剤・移植免疫で使用される免疫抑制剤の効果とその問題点について討論・山田武司					
13回	細胞性免疫療法・細胞性免疫療法の効果とその問題点について討論・山田武司					
14回	研究発表法（論文）・論文作成のポイントについて・山田武司					
15回	研究発表法（スライド）・スライドを用いたプレゼンテーションのポイントについて・山田武司					
16回						
17回						
18回						
19回						
20回						
21回						
22回						
23回						
24回						
25回						
26回						
27回						
28回						
29回						
30回						
成績評価方法及び基準						
課題レポート（50%）および発表内容・態度（50%）で評価する。60点以上を合格とする。						
教科書	欧文雑誌からの論文資料を随時配付する。					
参考図書等						
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）						
予習・復習が必要な場合は、進捗状況を顧みながら内容や範囲を随時指示する。						
関連科目						
前科目	M107 英文献講読	M301 臨床検査技術学特論	M303 医療技術科学研究方	M314 生体防御学特論		
後科目	M322 特別研究Ⅰ	M323 特別研究Ⅱ				
実務家教員						
備考	生体防御学特論の履修を前提とする。評価は特に理解度に比重を置く。					